

2024年度 司法研究科教育課程連携協議会 記録【抜粋】

日時：2025年3月1日（土）9：55～12：03

場所：西宮北口キャンパス 807・808教室

1. 開会の挨拶

2. 出席者紹介（敬称略）

岡筋 泰之	大阪弁護士会 法曹養成・法科大学院協力センター委員会 副委員長
明石 恵典	兵庫県弁護士会 法科大学院委員会 委員
三村 雅一	関西学院 法曹弦月会 代表世話役
長谷川賢司	兵庫県西宮市 産業文化局長
佐々木英靖	パナソニックホールディングス株式会社 コーポレート法務部長 (兼) パナソニックオペレーショナルエクセレンス株式会社 執行役員 CLO
山田 真裕	関西学院大学法学部 学部長
京 明	関西学院大学大学院司法研究科 研究科長
丸山 敦裕	関西学院大学大学院司法研究科 副研究科長
中原 茂樹	関西学院大学大学院司法研究科 副研究科長
張 洋介	関西学院大学大学院司法研究科 研究科長補佐
池田 直樹	関西学院大学大学院司法研究科 研究科長室委員
<事務局>	
植田 幸利	関西学院大学司法研究科事務室 事務長
高橋 知里	関西学院大学司法研究科事務室 事務長補佐

3. キャンパスツアー

4. 報告・懇談

京研究科長より、資料に基づき以下の内容につき説明があった。

教員数・学生数・司法試験合格者数等の基礎データ

法曹界及び地域社会との連携科目開設状況

本研究科修了生の進路状況・キャリア支援

法学部との連携

説明の後、種々懇談をした。主なテーマは以下のとおり。

○在学生・修了生と教員の密接な距離感とサポート実施状況について

○修了生の連絡先・進路先の把握状況について

○授業実施期間外の自習室の活用状況について

○西宮市との協力体制について

○企業法務の現状について

○本学の司法研究科と法学部の連携強化について

○高校生・大学生が予備試験を目指すことに意味はあるか？

○法科大学院が取り組むべき「国際性」について

以 上